

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
2019年度	中1年		国語	国語	5
教科書		補助教材			
『新しい国語 1』『中学書写 1』		『中学必修テキスト 1年』文理 『よくわかる中学国文法』吉野教育図書 『改訂版 級別 常用漢字マスター』文理 『ベネッセ第2回学力推移調査過去問題集』コウヨウ社など			

年間指導目標
国語力の向上

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	「風の五線譜」高階杞一 『オオカミを見る目』高槻成紀 文法：文法とは、言葉の単位、文の成分 書写：書写の学習、楷書	詩の形式の理解・読解 説明文の読解 文法：文、文節、単語 主語・述語 書写：鉛筆の持ち方や姿勢、基本点画、楷書の基本点画、筆使い、筆順の習得	詩の形式を理解する。 詩の読解を習得する。 接続詞や指示語に注意して、説明文の読解を習得する。 文法：文法事項を習得する 書写：書写の基本を習得する。
	後半	『さんちき』吉橋道夫 文法：文の成分 書写：楷書、楷書と仮名	小説の読解 文法：修飾語・接続後・独立語、並立の関係・補助の関係 書写：楷書の点画の変化、点画・部分・全体の分類、平仮名の筆づかい	接続詞や指示語に注意して、説明文の読解を習得する 小説の読解を習得する。 文法：文法事項を習得する。 書写：楷書・平仮名の筆づかいを習得する。
2学期	前半	『スズメバチは本当に減っているか』三上修 『古典の世界』 『伊曾保物語』 文法：自立語と付属語・品詞分類表 書写：楷書と平仮名の調和、行書	説明文の読解 典の読解・古文の特徴・歴史的仮名遣い 文法：品詞 書写：楷書と仮名の調和、楷書と行書の違い	説明文の読解を習得する。 文法：文法事項を習得する。 書写：楷書と仮名の調和をはかる。行書の特徴をつかむ。
	後半	『竹取物語』 『ニュースの見方を考えよう』池上彰 文法：用言の活用の種類と活用形 書写：行書	古典の読解・歴史的仮名遣い 説明文の読解 文法：用言 書写：行書の点画の変化と筆脈、点画の連続、省略など、行書の特徴	古典の読解を習得する。 説明文の読解を習得する。 文法：文法事項を習得する。 書写：行書の特徴を習得する。
3学期		『矛盾』韓非子 『少年の日の思い出』ヘルマン・ヘッセ 文法：名詞・代名詞 書写：行書	漢文のルール 小説の読解 説明文の読解 文法：名詞・代名詞 書写：行書の点画の変化と筆脈、点画の連続、省略など、行書の特徴	古典の読解を習得する。 小説の読解を習得する。 文法：文法事項を習得する。 書写：これまでの学習を生かして、作品作りをする。

評価方法	1・2学期は、定期試験の「国語」の得点×0.8＋書写20点分、 3学期は、定期試験の「国語」の得点×0.9＋書写10点分 を基本として、本校評価法に基づいて評価します。
学習方法	本文をよく読み、意味が分からない語句や難解な表現は事前に調べたり考えたりしてノートに書き留め、授業に集中してそれらが正しかったのか確認すること。また、漢字の小テストで確実に得点して、漢字検定の合格につなげましょう。その積み重ねの上に語彙力、読解力の向上が見えてきます。古文漢文の知識も少しずつ修得していきましょう。
注意事項	予習復習（家庭学習）の習慣づけ、授業をしっかり受けることが大切です。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	『中学必修テキスト 1年』の該当単元

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
2019年度	中2年		国語	国語	5
教科書		補助教材			
『新編 新しい国語 2』(東京書籍) 『中学書写』(教育出版)		『Keyワーク 2年』教育開発出版『よくわかる中学国文法』吉野教育図書 『あかねこ読解スキル』光村教育図書『級別漢字マスター』研数書院 『必携 国語常識ベーシック 漢字・ことば・敬語・文学史』(数研出版) 『漢検実力完成ドリル』日本漢字能力検定協会			

年間指導目標
国語力の向上

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	○教科書 「未来へ」「メッセージをどう聞くか」「字のない葉書」 ○文法の学習 ・連体詞 書写 漢検対策	○教科書 ・詩の形式や修辞および鑑賞 ・筆者の考えを捉える ・随筆の読解 ○文法の学習 ・連体詞の働きと種類 ○あかねこ入門編1～32 書写 漢字力・語彙力の向上 書く姿勢と用具の使い方	・詩の形式・修辞を理解し、心情を捉える。 ・中心語に注意し、筆者の主張を捉える。 ・語句の意味を理解し、語彙を増やす。 ・文字を美しく書く姿勢を身につける。
	後半	○教科書 「卒業ホームラン」「平家物語」 ○文法の学習 ・副詞 書写 漢検対策	○教科書 ・小説と古典の読解 ○文法の学習 ・副詞の働きと種類 ○あかねこ基礎編1～15 書写 漢字力・語彙力の向上 書く姿勢と用具の使い方	・中心語に注意し、筆者の主張を捉える。 ・登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。 ・古典に親しむ。 ・語句の意味を理解し、語彙を増やす。 ・文字を美しく書く姿勢を身につける。
2学期	前半	○教科書 「鯉節 世界に誇る伝統食」 ○文法の学習 ・接続詞 書写 漢検対策・行書「創造」「初志を貫く」	○教科書 ・評論と古典の読解 ・漢字力・語彙力の向上 ○文法の学習 ・接続詞の働きと種類 ○あかねこ基礎編16～29 書写 漢字力・語彙力の向上 点画の連続と省略を理解して書く	・文章の展開や主張を捉える。 ・古典に親しむ。 ・文章の展開や主張を捉える。 ・語句の意味を理解し、語彙を増やす。 ・文字を美しく書く姿勢を身につける ・伝統文化を重視する心を養う。
	後半	○教科書 「哲学的思考のすすめ」「枕草子」「徒然草」 ○文法の学習 ・感動詞、名詞 書写 行書の学習「約束」「銀河」	○教科書 ・評論と古典の読解 ○文法の学習 ・感動詞、名詞の働きと種類 ○あかねこ実践編1～15 ○日本文学史(三大和歌集) 書写 点画の連続と省略を理解して書く	・文章の展開や主張を捉える。 ・古典に親しむ。 ・語句の意味を理解し、語彙を増やす。 ・文字を美しく書く姿勢を身につける。 ・伝統文化を重視する心を養う。
3学期		○教科書 「走れメロス」「漢詩」 ○文法の学習 ・2年生の復習 書写 行書の学習「世界大会」「旅立ちの朝」	○教科書 ・小説と漢詩の読解鑑賞 ○文法の学習 ・2年生の復習 ○あかねこ実践編16～29 ○日本文学史(三大随筆) 書写 点画の連続と省略を理解して書く	・人物の気持ちの変化を読み取る ・漢詩の基礎的な知識を学ぶ ・語句の意味を理解し、語彙を増やす。 ・文字を美しく書く姿勢を身につける。 ・伝統文化を大切にすることを養う

評価方法	1・2学期は、定期試験の「国語」の得点×0.8＋書写20点分、 3学期は、定期試験の「国語」の得点×0.9＋書写10点分 を基本として、本校評価法に基づいて評価します。
学習方法	「予習→授業→復習」を徹底しましょう。予習時に本文をよく読み、意味不明語句や難解表現について調べたり、考えたりしたことをノートに書き留めておきましょう。授業時に予習内容の確認をはじめ、先生の話に集中することが大切です。授業時の疑問点は、すぐに解決しましょう。国語力の向上は、こうした積み重ねの上にあります。古文・漢文の学習では反復して定着させます。
注意事項	予習・復習（家庭学習）の習慣づけと、授業をしっかり受けることが大切です。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	『Keyワーク 2年』の該当単元

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
2019年度	中学3年		国語	国語	4
教科書		補助教材			
『新編 新しい国語3』（東京書籍）		『級別常用漢字マスター』（文理） 『よくわかる中学国文法』（吉野教育図書） 『中学必修テキスト3年』（文理） 『あかねこ読解スキル3』（光村教育図書）			

年間指導目標
中学国語の基礎的な知識を修得するだけでなく高等学校の学習で役立つ勉強への姿勢を身につける。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	「生命は」 「二つのアザミ」 「俳句の読み方、味わい方」 「俳句五句」 ○漢字検定対策 ○文法の学習 助動詞	・韻文とは何か ・詩の鑑賞 ・俳句の鑑賞 ・説明文の読解	・詩、俳句の読解の仕方を学ぶ。 ・詩、俳句の鑑賞の仕方を学ぶ。 ・説明文の読解の仕方を学ぶ。 ・漢字と文法の知識をつける。
	後半	「形」 「百科事典少女」 「絶滅の意味」 ○漢字検定対策 ○文法の学習 助詞	・小説（時代もの）の読解 ・小説（現代もの）の読解 ・論説文の読解	・小説と論説文の読解の違いを理解する。 ・小説の読解の仕方を学ぶ。 ・論説文の読解の仕方を学ぶ。 ・漢字と文法の知識をつける。
2学期	前半	「黄金の扇風機」 「サハラ砂漠の茶会」 「万葉・古今・新古今」 ○文法の学習 文語文法	・随想の読解 ・古文に親しむ ・和歌の鑑賞	・随想の特徴を学ぶ。 ・随想の読解の仕方を学ぶ。 ・和歌の世界に親しむ。 ・古人の感性の理解を深める。 ・漢字と文法の知識をつける。
	後半	「おくのほそ道」 「論語」 「故郷」 ○漢字検定対策 ○文法の学習 総復習	・古文の読解と鑑賞 ・漢文（訓読文）の読み方 ・漢籍の鑑賞 ・小説の読解	・日本および中国の古典の世界に親しむ。 ・小説の世界を楽しむ。 ・漢字と文法の知識をつける。
3学期		「何のために『働く』のか」 「いつものように新聞が届いた」 「レモン哀歌」 「生ましめんかな」 ○漢字検定対策 ○文法の学習 総復習	・論理的文章の読解（総まとめ） ・文学的文章の読解（総まとめ）	・一年間の総まとめとして、論理的文章、文学的文章（散文、韻文）の読解の仕方を復習する。 ・漢字と文法の知識をつける。

評価方法	1学期と2学期は、それぞれ第1次試験と第2次試験の平均に平常点を加味して評価します。3学期は、学年末試験の成績に平常点を加味して評価します。
学習方法	中学2年生までに身につけた授業を中心とした予習、復習のサイクルをそのまま続けてください。その上に立って中学3年では高等学校に進学する前段階として学習に対する自主的な取り組みを確立することが大切です。課題に取り組むだけでなく自ら目標を定め進んで努力する姿勢が大切です。授業で学んだ学習内容を自ら深めようとするような意欲を大切にしてください。受け身の学習から積極的な学びの姿勢への転換を意識することに留意してほしいと思います。
注意事項	上記の学習方法を基本に自分に合った学習方法を各自で確立するように心がけてください。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	『中学必修テキスト3年』の該当単元のページになります。

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
2019年度	高校1年		国語	国語総合	5
教科書		補助教材			
『国語総合 現代文編』東京書籍 『国語総合 古典編』東京書籍		『ルート現代文の読み方 11のチェック』啓隆社 『新精選古典文法 改訂版』『新精選古典文法 準拠ノート』東京書籍 『わかる・読める・解ける 古文単語330』いっすな書店 『よむナビ 漢文① 基礎編』いっすな書店			

年間指導目標
現代文、古文、漢文の基礎知識を身につけ、読解力の向上を目指す。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	◇現代文『水の東西』 ◇現代文「ルート現代文の読み方」 ◆古文「検非違使忠明」 ◆古文「絵仏師良秀」 ○漢文『よむナビ 漢文①』 入門①～⑥	◇評論読解の基本 ◇問題演習 ◆文学史・歴史的仮名遣い 動詞の活用（種類・活用形） ○漢文の基礎（返り点・書き下し文）	◇評論読解の基本を習得する 漢字・語句の理解。 ◆古文学習の入門としての基礎知識の習得（単語・分節・用言の活用） 説話文学の流れを理解する。 ○漢文学習の入門として、訓点に従い、正しく読めるようにする。 書き下し文を習得する。
	後半	◇現代文『羅生門』 ◇現代文「ルート現代文の読み方」 ◆古文『徒然草』 「つれづれなるままに」 「ある人弓射ること習ふに」 ○漢文『よむナビ 漢文①』 再読文字①・② 否定形①	◇小説読解の基本 ◇問題演習 ◆文学史（徒然草・三代随筆） 用言の活用（種類・活用形） ○再読文字・否定形の句法と読解	◇小説読解の基本を習得する。 小説を読む楽しさを実感させる ◆用言の活用を徹底させる。 口語訳を通じて、ものの見方を知る。 随筆文学の流れを理解する。 ○漢文特有の表現の習得。書き下し文や口語訳の練習をする。
2学期	前半	◇現代文「小景異情」（詩） ◇現代文「〈顔〉という現象」 ◇現代文 ルート現代文の読み方 ◆古文『伊勢物語』 「芥川」「東下り」 ○漢文『よむナビ 漢文①』 疑問・反語①～③	◇詩の読み方・技法 ◇評論読解の習得 ◇問題演習 ◆文学史・和歌の修辞法・用言の活用（復習①） ・助動詞の接続・意味…す・む・じ・き・けり・つ・ぬ・たり・なり・り ○疑問・反語の句法と読解	◇筆者の主張を理解し、自分の考えをまとめる。 近代詩に親しみ、詩の文学史も理解する。 ◆基本的な助動詞、重要単語を覚え、理解を深める。 物語文学の流れを理解する。 ○疑問や反語の句法を習得する。 漢字の意味を考え、口語訳をする。
	後半	◇現代文「十五の心」「白牡丹」 ◇現代文「言葉は『ものの名前』ではない」 ◇現代文 ルート現代文の読み方 ◆古文『土佐日記』 「馬のはなむけ」「帰京」 ○漢文『よむナビ 漢文①』 使役・受身	◇短歌・俳句の読み方・技法 ◇評論読解の習得 ◇問題演習 ◆文学史 ・十二支・方位・時刻 ・助動詞の接続・意味…る・らる・す・さす・しむ・まし・べし・まし・なり（伝聞）・たり（断定） ○使役・受身	◇近代短歌俳句に親しみ、短歌俳句の文学史を理解する。 ◆助動詞の接続に着目させ、口語訳のための文法理解を深める。 日記文学の流れを理解する。 ○漢字の意味を考え口語訳の練習をする。使役・受身の句法を習得する。
3学期		◇現代文「映像文化の変貌」 ◇現代文 ルート現代文の読み方 ◆古文「万葉・古今・新古今」 ○漢文『よむナビ 漢文①』 1学期、2学期の復習	◇評論読解の習得 ◇問題演習 ◆三大集、八代集の文学史 ・助動詞の接続・意味…むす・らむ・けむ・らし・めり・まほし・たし・ごとし ・用言の活用（復習②） ・文学史のまとめ ○読解演習	◇難解な用語等含め、現代文の総まとめとして正確な内容読解力と批評力を身につける。 ◆和歌の修辞技法習得と、文法の総まとめをする。 三大集と八代集の流れを理解する。 ○今まで学習したことを復習し、書き下し文・口語訳に慣れる。

評価方法	1学期、2学期は第1次と第2次試験の平均で、3学期は学年末試験1回で、それぞれ平常点を加味して評価します。
学習方法	一語一語の意味を正確に押さえることの積み重ねが読解力の土台になります。辞書で根気強く意味調べましょう。古典文法力、漢文の句法は、高校1年でしっかり身につけなければならない基礎です。授業だけでなく、副教材を有効に使ってしっかり学習しましょう。
注意事項	国語の読解力は、簡単には身につくものではありません。小説だけでなく、新聞や評論など、いろいろなジャンルの文章を意識して読み進めましょう。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	その時に学習している単元、次に取り組む単元をノートに整理し、提出してください。長期の場合はHPで連絡します。

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
2019年度	高校2年	日大進学クラス	国語	現代文	3
教科書		補助教材			
東京書籍『精選 現代文B』		『スタディーアーク現代文2』（第一学習社）			

年間指導目標
1年次の学習内容に基づき、より難解な評論や小説を読み解く力を身に付ける。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	◇ 評論の読解	評論「世界をつくり替えるために」 評論「ミロのヴィーナス」	○ 詩歌の表現上の特色を理解し、言葉の響きを味わうことで、韻文としての特徴を理解する。 ◇ 評論文や随筆を読んで、筆者の着眼点や論理展開を正確に把握する。また、文中に提起されている抽象度の高い問題についても関心を持ち、自ら考えることで思考力を養う。
	後半	◆ 小説の読解 ◇ 評論の読解	小説「山月記」 評論「相手依存の自己規定」	◆ 描かれた場所・状況、作中人物の心理等小説を的確に読み取り、読む楽しさを実感させる。小説の読解により、描かれた人生の真実や人間の生き方について考える姿勢を持つ。 ◇ 筆者の視点を知ること、物事の多角的な見方を養い、新たな思考力を養う。
2学期	前半	◇ 評論の読解 ○ 詩歌の鑑賞	評論「消費されるスポーツ」 詩「見えない季節」 詩「竹」	◇ 評論文の論理的読解の定着を意図し、論理の的確な把握による趣旨の読解力を磨く。 ○ 詩歌の表現上の特色を理解し、言葉の響きを味わうことで、韻文としての特徴を理解する。詩歌の表現内容の理解から主題の読解へ、更に鑑賞へと発展させる。
	後半	◇ 評論の読解 ◆ 小説の読解	評論「日本人の美意識」 小説「蠅」	◇ 評論の読解を通して筆者の着眼点や論理展開をたどり、主旨を的確に把握する力を養う。 ◆ 近代文学の代表的作品を読み、その優れた表現を味わい、小説を読む楽しさを実感させる。
3学期		◇ 評論の読解	評論「「である」と「する」こと」	◇ 難解な用語等を含めた1年間の総復習を行い、正確な論理展開の把握と趣旨を読解する力を身に付ける。

評価方法	・ 1学期、2学期は第1次と第2次試験の平均で、3学期は学期末試験一回で、それぞれ平常点を加味して評価します。
学習方法	・ 評論に関しては複雑な論理展開や、難解な語句を含む文章を読むことに慣れ、文意を正確に理解することを中心に学習していきます。小説も同様に、内容を正確に読み進めながら、登場人物の心情や情景描写に着目して読むことで、主題の把握を目指します。更には読み味わうことも大事にしていきます。
注意事項	・ 思考は言葉によってなされます。従って、語彙の正確な理解と、「何が、どうである」という事柄の確実な把握は非常に重要です。そこに論理性が加わることで思考力が磨かれます。その観点から、国語の授業では、授業の対象となっている事柄に対し、その関連や比較・対応などの関係を理解するよう常に頭を働かせる、積極的な授業参加を大事にしてください。なお、授業作品は繰り返し読むことが必要です。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	・ 短期の場合は、その時に学習している単元、次に取り組む単元の予習復習をノートにして提出しましょう。長期の場合はHPで連絡します。

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
2019年度	高校2年	難関大進学クラス	国語	現代文	3
教科書		補助教材			
東京書籍『精選現代文B』		『現代文長文記述問題集―読解力習得編』（いいずな書店）			

年間指導目標
1年次の学習内容に基づき、より難解な評論や小説を読み解く力を身に付ける。問題演習を通し、入試に必要な読解力も養う。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	◇ 評論の読解	評論「世界をつくり替えるために」 評論「ミロのヴィーナス」	○ 詩歌の表現上の特色を理解し、言葉の響きを味わうことで、韻文としての特徴を理解する。 ◇ 評論文や随筆を読んで、筆者の着眼点や論理展開を正確に把握する。また、文中に提起されている抽象度の高い問題についても関心を持ち、自ら考えることで思考力を養う。
	後半	◆ 小説の読解 ◇ 評論の読解	小説「山月記」 評論「相手依存の自己規定」	◆ 描かれた場所・状況、作中人物の心理等小説を的確に読み取り、読む楽しさを実感させる。小説の読解により、描かれた人生の真実や人間の生き方について考える姿勢を持つ。 ◇ 筆者の視点を知ること、物事の多角的な見方を養い、新たな思考力を養う。
2学期	前半	◇ 評論の読解 ○ 詩歌の鑑賞	評論「消費されるスポーツ」 詩「見えない季節」 詩「竹」	◇ 評論文の論理的読解の定着を意図し、論理の的確な把握による趣旨の読解力を磨く。 ○ 詩歌の表現上の特色を理解し、言葉の響きを味わうことで、韻文としての特徴を理解する。詩歌の表現内容の理解から主題の読解へ、更に鑑賞へと発展させる。
	後半	◇ 評論の読解 ◆ 小説の読解	評論「日本人の美意識」 小説「蠅」	◇ 評論の読解を通して筆者の着眼点や論理展開をたどり、主旨を的確に把握する力を養う。 ◆ 近代文学の代表的作品を読み、その優れた表現を味わい、小説を読む楽しさを実感させる。
3学期		◇ 評論の読解	評論「「である」と「する」こと」	◇ 難解な用語等を含めた1年間の総復習を行い、正確な論理展開の把握と趣旨を読解する力を身に付ける。

評価方法	・ 1学期、2学期は第1次と第2次試験の平均で、3学期は学年末試験一回で、それぞれ平常点を加味して評価します。
学習方法	・ 評論に関しては難解な表現や複雑な論理展開の文章を読むことに慣れ、文意を正確に押さえることを中心として学習していきます。小説も同様に内容を正確に読み進めながら、登場人物の心情や情景描写にも着目して読むことで、主題の把握を目指します。更には読み味わうことも大事にしていきます。
注意事項	思考は言葉によってなされます。従って、語彙の正確な理解と、「何が、どうである」という事柄の確実な把握は非常に重要です。そこに論理性が加わることで思考力が磨かれます。その観点から国語の授業では、授業の対象となっている事柄に対し、その関連や比較・対応などの関係を理解するように常に頭を働かせる、積極的な授業参加を大事にしてください。なお、授業作品は繰り返し読むことが必要です。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	短期の場合は、その時に学習している単元、次に取り組む単元の予習復習をノートにして提出しましょう。長期の場合はHPで連絡します。

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
2019年度	高校2年	日大進学クラス	国語	古典	3
教科書		補助教材			
東京書籍『精選古典B』		① 浜島書店『例文による 漢文の習得』 ② いいすな書店『よむナビ漢文』 ③ 東京書籍『新精選古典文法』※前年度購入 ④ いいすな書店『わかる・読める・解ける 古文単語330』※前年度購入			

年間指導目標
1 年次「国語総合」で学習した古典文法や漢文の句法、古文単語や漢文語彙などの読解基礎力の定着を図る。 古文においては敬語法や他の文法事項を新たに学習し、読解力の向上をめざすとともに古文単語テストを毎週実施し、読解力や語彙力の向上を目指す。 漢文においては1 年次に学習した句法の定着を図り、新たに学習する句法とともに読解の基礎を完成させる。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学期	前半	○物語『伊勢物語』 「初冠」「すける物思い」 『大和物語』 「姨捨」 ●再読文字『三国志』 ●否定形『孟子』	○用言の活用（復習） ○助動詞の活用・口語訳（復習） ○物語文学史 ○古文単語小テスト（週1 回） ●再読文字の復習 ●否定形の復習	○基礎学力到達度テストで出題される用言の復習を徹底する ○助動詞の活用を復習し、逐語訳による読解ができるようする ○物語文学の歴史を学ぶ ○1 年次に続く語彙の増強 ●再読文字の書き下しと口語訳について復習する ●否定形の基本から二重否定などの応用までを復習する
	後半	○随筆『枕草子』 「中納言参給ひて」 『徒然草』 「家居のつきづきしく」 ●使役形『三国志』 ●受身形『史記』	○用言の活用（復習） ○助動詞の活用・口語訳（復習） ○随筆文学史 ○古文単語小テスト（週1 回） ●使役形の復習 ●受身形の復習	○用言の活用について復習し、活用形班別により紛らわしい語の識別ができるようにする ○判別した助動詞の意味から口語訳が作成できるようにする ○随筆文学の歴史を学ぶ ○語彙の増強 ●使役形・受身形の基本的な形を学び、書き下しや口語訳ができるようにする
2 学期	前半	○日記『更級日記』 「物語」 ●疑問形・反語形 『史記』『韓非子』	○敬語法の学習 （敬語の種類と敬意の方向） ○日記文学史 ○古文単語小テスト（週1 回） ●疑問形の復習 ●反語形の復習	○敬語法の基本を学習する ○登場人物間に身分の差があり、敬語の使われ方によって主語が特定できることなどを学ぶ ○日記文学の歴史を学ぶ ○語彙の増強 ●疑問形・反語形の基本的な形を学び、書き下しや口語訳ができるようにする
	後半	○物語『大鏡』 「道長、伊周の競射」 ●比較形・選択形『論語』	○敬語法の学習 （最高敬語、二方面敬意） ○歴史物語文学史 ○古文単語小テスト（週1 回） ●比較形の学習 ●選択形の学習	○敬語法の応用として最高敬語と二方面敬意について学習する ○歴史物語文学の歴史を学ぶ ○語彙の増強 ●比較形・選択形の基本的な形を学び、書き下しや口語訳ができるようにする
3 学期		○物語『源氏物語』 「光源氏の誕生」 ●仮定形『蒙求』	○敬語法の学習（復習含む） （敬語の種類、敬意の方向、最高敬語、二方面敬意、絶対敬語） ○物語文学史（復習） ○古文単語小テスト（週1 回） ●仮定形の学習	○敬語の基本から応用までを総括的に復習し、対象が特定される絶対敬語について学習する ○物語文学の歴史を復習する ○語彙の増強 ●仮定形の基本的な形を学び、書き下しや口語訳ができるようにする

評価方法	1 ・ 2 学期は2 回の定期試験の平均点と平常点、3 学期は学年末試験の得点と平常点の合計。前年度春期休業課題は1 学期、夏期休業課題は2 学期、冬期休業課題は3 学期の平常点として加味する。
学習方法	古文は1 年次で学習した基本的な文法事項を用いて文章を読解していくことを基本として進める。基本知識の不足が見られる生徒には補習等を用いて内容の徹底を図る。また、新たに敬語法を学習することで複雑な文章の読解にも挑戦していく。 漢文は1 年次で概観した句法の基本を復習し、今年度は新たな句法についても学習する。特に基本的な句形については決まった形式を覚え、読解をしていくための基礎固めを徹底する。
注意事項	これまでに学んだ知識を使い、初見の文章の読解ができるようになることを意識する。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	短期間の場合は、その直前に学習していた単元の復習と次に学習する単元の予習を自分で進めて、臨時休校期間終了後にノートを提出すること。 長期間の場合は、別途学校ホームページにて連絡を行う。

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
2019年度	高校2年	難関大進学クラス	国語	古典	3
教科書		補助教材			
東京書籍『精選古典B』		① 浜島書店『漢文の習得』 ② 啓隆社『読解トレーニング 古典の演習2〈標準編〉』 ③ 浜島書店『LT漢文 LT標準』 ④ 東京書籍『新精選古典文法』※前年度購入 ⑤ いいずな書店『わかる・読める・解ける 古文単語330』※前年度購入			

年間指導目標
1年次「国語総合」で学習した古典文法や漢文の句法、古文単語や漢文語彙などの読解基礎力をもとに演習問題に取り組み解答力のアップを図る。 古文においては敬語法や他の文法事項を新たに学習し、読解力の向上をめざすとともに古文単語テストを毎週実施し、読解力や語彙力の向上を目指す。 漢文においては1年次に学習した句法の定着を確認し、新たに学習する句法とともに読解の基礎を完成させる。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	○物語『伊勢物語』 「初冠」 「すける物思い」 『大和物語』 「姨捨」 ●再読文字『三国志』 ●否定形『孟子』	○用言の活用（復習） ○助動詞の活用・口語訳（復習） ○物語文学史 ○古文単語小テスト（週1回） ●再読文字の復習 ●否定形の復習	○基礎学力到達度テストで出題される用言の復習を徹底する ○助動詞の活用を復習し、逐語訳による読解ができるようする ○物語文学の歴史を学ぶ ○1年次に続く語彙の増強 ●再読文字の書き下しと口語訳について復習する ●否定形の基本から二重否定などの応用までを復習する
	後半	○随筆『枕草子』 「中納言参給ひて」 『徒然草』 「家居のつきづきしく」 ●使役形『三国志』 ●受身形『史記』	○用言の活用（復習） ○助動詞の活用・口語訳（復習） ○随筆文学史 ○古文単語小テスト（週1回） ●使役形の復習 ●受身形の復習	○用言の活用について復習し、活用形班別により紛らわしい語の識別ができるようにする ○判別した助動詞の意味から口語訳が作成できるようにする ○随筆文学の歴史を学ぶ ○語彙の増強 ●使役形・受身形の基本的な形を学び、書き下しや口語訳ができるようにする
2学期	前半	○日記『更級日記』 「物語」 ●疑問形・反語形 『史記』『韓非子』	○敬語法の学習 （敬語の種類と敬意の方向） ○日記文学史 ○古文単語小テスト（週1回） ●疑問形の復習 ●反語形の復習	○敬語法の基本を学習する ○登場人物間に身分の差があり、敬語の使われ方によって主語が特定できることなどを学ぶ ○日記文学の歴史を学ぶ ○語彙の増強 ●疑問形・反語形の基本的な形を学び、書き下しや口語訳ができるようにする
	後半	○物語『大鏡』 「道長、伊周の競射」 ●比較形・選択形『論語』	○敬語法の学習 （最高敬語、二方面敬意） ○歴史物語文学史 ○古文単語小テスト（週1回） ●比較形の学習 ●選択形の学習	○敬語法の応用として最高敬語と二方面敬意について学習する ○歴史物語文学の歴史を学ぶ ○語彙の増強 ●比較形・選択形の基本的な形を学び、書き下しや口語訳ができるようにする
3学期		○物語『源氏物語』 「光源氏の誕生」 ●仮定形『蒙求』	○敬語法の学習（復習含む） （敬語の種類、敬意の方向、最高敬語、二方面敬意、絶対敬語） ○物語文学史（復習） ○古文単語小テスト（週1回） ●仮定形の学習	○敬語の基本から応用までを総括的に復習し、対象が特定される絶対敬語について学習する ○物語文学の歴史を復習する ○語彙の増強 ●仮定形の基本的な形を学び、書き下しや口語訳ができるようにする

評価方法	1・2学期は2回の定期試験の平均点と平常点、3学期は学年末試験の得点と平常点の合計。前年度春期休業課題は1学期、夏期休業課題は2学期、冬期休業課題は3学期の平常点として加味する。
学習方法	古文は1年次で学習した基本的な文法事項を用いて文章を読解していくことを基本として進める。基本知識の不足が見られる生徒には補習等を用いて内容の徹底を図る。また、新たに敬語法を学習することで複雑な文章の読解にも挑戦していく。 漢文は1年次で概観した句法の基本を復習し、今年度は新たな句法についても学習する。特に基本的な句形については決まった形式を覚え、読解をしていくための基礎固めを徹底する。
注意事項	これまでに学んだ知識を使い、初見の文章の読解ができるようになることを意識する。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	短期間の場合は、その直前に学習していた単元の復習と次に学習する単元の予習を自分で進めて、臨時休校期間終了後にノートを提出すること。 長期間の場合は、別途学校ホームページにて連絡を行う。

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
2019年度	高校3年	日大進学クラス	国語	現代文	3
教科書		補助教材			
東京書籍『精選 現代文B』		数研出版『マーク演習現代文』			

年間指導目標
2年次の学習内容に基づき、基礎学力テストに対応できる読解力を身に付ける。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	◇評論の読解 ◆問題演習	1 評論 1 『言語と記号』 3 評論 2 『鏡の中の現代社会』 基礎学力テスト対策としての問題演習	◇より難解な評論文を読み、筆者の着眼点や論理展開を正確に把握する。また、文中で扱われる抽象度の高い話題についても関心を持ち、考えることでさらなる論理的思考力を養う。 ◆実践問題に取り組み、入試レベルで扱われる内容や設問の形式に慣れ、得点力の基礎を涵養する。
	後半	◆問題演習	基礎学力テスト対策としての問題演習	◆実践問題に取り組み、入試レベルで扱われる内容や設問の形式に慣れ、得点力の基礎を涵養する。
2学期	前半	◆問題演習 ◇評論の読解	基礎学力テスト対策としての問題演習 5 評論 3 『平気一正岡子規』 2 小説 1 『檸檬』	◆センター試験形式の客観問題に慣れ、基礎学力到達度テストへの対策の一環とする。また、客観問題の選択肢の選び方などについても学ばせる。 ◇評論文を読み、筆者の着眼点や論理を把握する。文中で扱われる抽象度の高い話題への関心を深め、文学的文章にも触れ、登場人物の心情を理解する。
	後半	◇評論の読解	7 評論 4 『他者の声 実在の声』	◇評論文を読み、筆者の着眼点や論理を把握し、哲学的な思考の方法に理解を深める。
3学期		卒業前教育	日本大学卒業前教育用オリジナルテキスト他	3年間の復習を含め、総合的な学力を養う。

評価方法	定期試験の得点に平常点を加味して評価する。
学習方法	評論を中心として扱い、その内容として複雑な論理展開や、難解な語句を含む文章を読む力を完成させ、論旨を明確に理解する着目点について集中的に学習していきます。
注意事項	2年次よりも難解な内容を扱うため、授業中は常に内容に対して頭を働かせるよう意識してください。また、語彙の正確な理解と、その論理関係を確実に把握しておくことは非常に重要です。さらには、授業前の準備として内容に触れておくこと、授業後に内容を振り返っておくことを習慣化してください。扱う作品は繰り返し読む必要があります。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	短期の場合は、その時に学習している単元、次に取り組む単元の予習復習をノートにして提出しましょう。長期の場合はHPで連絡します。

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
2019年度	高校3年	難関大進学クラス	国語	現代文	3
教科書		補助教材			
東京書籍『精選 現代文B』		いいずな書店『改訂版センター試験演習 現代文』			

年間指導目標
2年次の学習内容に基づき、難関大の入試にも対応できる読解力を身に付ける。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	◇評論の読解 ◆問題演習	1 評論 1 「言語と記号」 4 随想 「クレールという女」 評論 2 「鏡の中の現代社会」 入試問題演習①	◇より難解な評論文を読み、筆者の着眼点や論理展開を正確に把握する。また、文中で扱われる抽象度の高い話題についても関心を持ち、自らの考えを文章としてまとめる要約力を完成させる。 ◇筆者の視点を知ること、物事の多角的な見方を養い、新たな思考力を養う。
	後半	◆問題演習	9 評論 5 「抗争する人間」 評論 4 「他者の声 実在の声」 入試問題演習②	◇評論文の論理的読解の完成をめざし、論理の的確な把握によって論旨を理解する読解力を養う。 ◇評論文の読解を通して筆者の着眼点や論理展開をたどり、論旨を的確に把握、説明する力を養う。 ◆実践問題に取り組み、入試レベルで扱われる内容や設問の内容についての周辺知識についても学ぶ。
2学期	前半	◆問題演習②	入試問題演習③	◆1学期に身につけた読解の基礎を用いて設問に対する回答を作成し、解説を読んで誤りについて検討できる批判的読みを身につけさせる。 ◆センター試験形式の客観問題に慣れ、対策の一環とする。また、客観問題の選択肢の選定方法についても学ばせる。
	後半	◆問題演習③	入試問題演習③	◆難関私大で出題される内容に触れ、その形式や答案作成、選択肢選定の要点についても読解法と併せて身につけさせる。 ◆多くの問題に触れるとともに、その周辺知識についても整理し、同様の内容が出題されたときの対策とする。
3学期		◆入試直前授業	入試問題演習④	◆大学入試の過去問題に取り組み、内容把握・確認とともに、答案作成への実践力を完成させる。 ◆時間配分や、答案作成、選択肢選択の要点などについて、本番の試験前にもう一度確認しておく。

評価方法	定期試験の得点に平常点を加味して評価する。
学習方法	入試において中心となる評論を扱い、複雑な論理展開や難解な語句を含む文章に対する読解力の完成を目指す。また、問題演習では出題者の視点から、どのような問題でどのような間違いをさせようとしているかについても解説し、問題内容について俯瞰的な視点を持つ訓練も併せて行う。
注意事項	授業は常に入試を意識したものとして進める。記述等、対策が必要な者に対しては、要約などを課すこともあるため、家庭学習を心がけて授業に臨んでもらいたい。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	短期の場合は、その時に学習している単元、次に取り組む単元の予習復習をノートにして提出。長期の場合はHPで連絡します。

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
2019年度	高校3年	日大進学クラス	国語	古典	3
教科書		補助教材			
東京書籍『精選古典B』		第一学習社『実践型問題集スタディークstep1古典』 いづな書店『わかる・読める・解ける 古文単語330』			

年間指導目標
古文、漢文の基礎知識を確認し、今まで以上に理解を深める。新たな知識を習得し、実践に役立てる。読解の練習を通して基礎学力到達度テストの受験に備える。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	○古文の問題演習	○『スタディーク古典』1～5 文学史全般 古文単語	○問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。 ○1, 2年次に授業で取り上げた古典文学作品を網羅的、系統的に覚える。 ○1, 2年次に引き続き重要語句を覚える。
		●漢文の問題演習	●『スタディーク古典』16～18	●句形の理解、習得と演習により受験に備える。
	後半	○古文の問題演習	○『スタディーク古典』6～10 文学史全般 古文単語	○問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。 ○1, 2年次に授業で取り上げた古典文学作品を網羅的、系統的に覚える。 ○1, 2年次に引き続き重要語句を覚える。
		●漢文の問題演習	●『スタディーク古典』19～21	●句形の理解、習得と演習により受験に備える。
2学期	前半	○古文の問題演習	○『スタディーク古典』11～15 文学史全般 古文単語	○問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。 ○1, 2年次に授業で取り上げた古典文学作品を網羅的、系統的に覚える。 ○1, 2年次に引き続き重要語句を覚える。
		●漢文の問題演習	●スタディーク古典』22～25	●句形の理解、習得と演習により受験に備える。
	後半	○古文の問題演習	○大鏡「道長の左遷」 文学史全般	○古典の読解を通し古典文法を理解、習得する。 ○1, 2年次に学習した古典文学作品を網羅的、系統的に覚える。
		●漢文の問題演習	●『桃花源記』	●句形の理解、習得を目指す。
3学期		○●卒業前教育	○●日本大学卒業前教育用オリジナルテキスト他	○●3年間の復習も含め、総合的な学力を養う。

評価方法	定期試験の得点に平常点を加味して評価する。
学習方法	一語一語の意味を丹念に調べて理解する。文法を知りしっかり記憶する。その作業を根気よく続け、知識を積み重ねることが肝心である。また、様々なジャンルの文章をできる限り多く読み、古文漢文に慣れることが重要である。
注意事項	できる限り多くの問題に取り組むことを通して、長文問題に慣れ、解答のスピードを上げる。得点に固執せず、演習で得た知識の応用を意識させる。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	短期の場合は、次に取り組む単元の予習復習をノートにまとめて提出する。長期の場合はHPで連絡します。

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
2019年度	高校3年	難関大進学クラス	国語	古典	3
教科書		補助教材			
東京書籍『精選古典B』		数研出版『大学入試センター試験対策問題集 マーク演習 古典』 いっずな書店『センター試験演習 古典』 いっずな書店『わかる・読める・解ける 古文単語330』			

年間指導目標
古文、漢文の問題演習を通して、大学入試センター試験の受験に備える。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	○古文の問題演習 ●漢文の問題演習	○『マーク演習 古典』 説話・近世小説・歴史物語・歌論・日記等 文学史全般 古文単語 ●『マーク演習 古典』 散文・史伝・逸話等	○問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。 ○1, 2年次に授業で取り上げた古典文学作品を網羅的、系統的に覚える。 ○1, 2年次に引き続き、『古文単語330』から重要語句を指定して覚える。 ●問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。
	後半	○古文の問題演習 ●漢文の問題演習	○『マーク演習 古典』 随筆・軍記・お伽草子・紀行文・作り物語等 文学史全般 古文単語 ●『マーク演習 古典』 思想・史伝・散文等	○問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。 ○1, 2年次に授業で取り上げた古典文学作品を網羅的、系統的に覚える。 ○1, 2年次に引き続き、『古文単語330』から重要語句を指定して覚える。 ●問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。
2学期	前半	○古文の問題演習 ●漢文の問題演習	○『センター演習古文』古文編 説話・歌物語・仮名草子・歌文集等 ・擬古物語・随筆 文学史全般 古文単語 ●『センター演習古文』漢文編1・2・3・4・5・6 史書・随想・詩話・説話・史話・論説	○問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。 ○1, 2年次に授業で取り上げた古典文学作品を網羅的、系統的に覚える。 ○1, 2年次に引き続き、『古文単語330』から重要語句を指定して覚える。 ●問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。
	後半	○古文の問題演習 ●漢文の問題演習	○『センター演習古文』古文編 作り物語・説話・作り物語・擬古物語・紀行・軍記等 文学史全般 古文単語 ●『センター演習古文』漢文編 史話・論説・思想・史話・評論・詩論等	○問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。 ○1, 2年次に授業で取り上げた古典文学作品を網羅的、系統的に覚える。 ○1, 2年次に引き続き、『古文単語330』から重要語句を指定して覚える。 ●問題の解き方演習を繰り返して受験に備える。
3学期		○●入試直前授業	○●センター試験・私大入試対策演習	○●入試に備えて、古文・漢文の過去問を解く。

評価方法	定期試験の得点に平常点を加味して評価する。
学習方法	授業1時間あたり大問一題(設問数7～8)に取り組む。20～25分で解答し、授業の残り時間で解説を聞く。
注意事項	できる限り多くの問題に取り組むことを通して、長文問題に慣れ、解答のスピードを上げる。得点に固執せず、演習で得た知識の応用を意識させる。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	短期の場合は、次に取り組む単元の予習復習をノートにまとめて提出する。長期の場合はHPで連絡します。